

自己評価票

自己評価は全部で100項目あります。

これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。

項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目の や 等)から始めて下さい。

自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したのものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。

自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点](アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(1から 87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(88から 100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	グループホーム憩いの里みずなみ
(ユニット名)	ききょう
所在地 (県・市町村名)	岐阜県瑞浪市西小田町3-122
記入者名 (管理者)	堀部真弓
記入日	平成20年 5月18日

指定地域密着型サービス外部評価 自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「様々な機会を通じて地域の人々との触れ合いを大切にします」を運営理念に掲げ、ホーム独自としても、「笑う門には福来る、その人らしく、笑顔で仲良く」をモットーにケアの実践を図り、地域との関わりで安心感を得られ、より良い環境を生み出すと考えその人らしく生活できるよう支えております。	
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員が一緒に作り上げた理念の意義を常に理解できるようカンファレンスで取り上げ、御利用者の笑顔と尊厳を大切に生活全般の支援のなかで笑いや笑顔表出に努める声かけをしています。	
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	御家族には面会時や行事、ホーム便りの発行等、折に触れ伝えております。地域の方々には訪問時運営推進会議においてお伝えし、行事の参加をお誘いする事により、理解を深めていただいております。	
2. 地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	日常的に散歩や買い物に出かけ、挨拶を交わし会話を楽しんだり、畑の作物の収穫をおすそわけし、差し入れて頂いたり、お話し相手に来られる方もみえます。	○ もっと御近所のお付き合いができるように積極的な行事のお誘いや散歩の途中での世間話をおこなっていきたくとおもいます
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の行事に積極的に御利用者に参加させて頂き、地域の小学生や長寿会の訪問、ボランティアの方の定期的な活動等で地域との交流をしています。毎年、子供110番の家の協力をしています。	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	管理者や職員は事業所での実践ケア内容を踏まえ様々な研修や会合に関わり、認知症への理解と、ケアの啓発に努めています。小学生の社会活動、中学生、高校生の実習の受け入れを積極的に行っております。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価をユニットごとに行い、サービスの質の向上に努めております。外部評価の結果を踏まえ、改善に向けての具体的な検討や実際のケアにつなげるための努力を常に行っております。		
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では事業所からの報告、参加者からの質問・意見・要望を聞いております。また、評価結果を報告し、意見を頂くようにしております。		
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	小さな事故でも報告書の提出を行い、定期的に事業所の状況をお伝えし、施設見学をしていただいたりケアプランの相談をしつつ運営やサービスの質の向上、課題解決に向けての協議を行い交流を図っております。		
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	カンファレンス等で勉強会を行い職員の理解を深めるようにしております。又、研修に参加し成年後見人制度について学ぶ機会をつくり対応が必要な時御利用者の支援ができるように努めております。		
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待行為についての認識を常に行い、虐待防止についての周知徹底を図っております。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時には、特に料金関係、起こりうるリスク、事業所のケアに対する考え方や取り組み(医療連携体制等)について詳しく説明し、同意を得るようにしております。</p>		
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>御利用者の言葉や態度から思いを汲み取るように努め御利用者本意のサービスを心がけております。御利用者の不安や希望を理解し、思いに添えるように月1回～2回のカンファレンスでユニットごとに話し合いの機会を設けております。</p>		
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月、担当スタッフが御家族宛に状況報告をさせていただき、なおかつ月1回の便りを発行しております。合わせて、預かり金の確認もさせていただいております又、随時、状況の報告や相談等電話にてお知らせいたしております。</p>		
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>御家族様にはお手紙や電話、面会時常に問いかけ、遠慮なく話していただける雰囲気作りに心がけております。重要事項説明書や玄関の掲示物にホームの苦情相談受付担当者や会社本部の担当者、外部苦情申し立て先などを明示し意見が反映しやすい仕組みを整えております。</p>		
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>カンファレンスを月1回行い、意見を聞く場にしております。また、日ごろからコミュニケーションを図るよう声かけを行い、職員の要望や意見を聞くようにしております。</p>		
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>御利用者の生活を安心して支えられるよう、御利用者の状態、ペースに合わせ柔軟な対応ができるように余裕をもった人員の確保をととのえております。又、職員に無理のないシフトの工夫をしております。</p>		
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>ユニット間の職員異動は行っておりますがユニット間の交流を活かし馴染みの職員と継続的な関係が保てております馴染みの職員の退職がなく、新しい職員と御利用者がコミュニケーションを図れるように他の職員が仲介に入り、又御家族面会時に紹介しております。</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	勉強会や研修開催の情報を職員に提示し、積極的に参加してもらい、得られた情報をカンファレンス等で報告しております。会社の研修も随時行われ順番に参加しケアの質の向上につとめております。		
20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者と連絡を取りつつ、運営推進会議や行事の参加、並びに運営やケアプランについての相談等行っております。他グループホームの見学を通じて意見の交換を行いサービスの質の向上に努めております。		
21	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	職員の顔色や状態を常に留意し、披露やストレスの要因についての配慮につとめております。又、会社内にヘルプデスクがあり現場の悩みを直接本部が聞いてくれるシステムがあります。		
22	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	会社は職員の日ごろの努力や実績勤務状況を把握し、表彰や金券の進呈を行い努力への評価を行っており、向上心を持って働ける配慮をしています。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	御利用について相談があったときは、他職種の方から情報を集めて後、御本人にお会いして心身の状態や思いが表出できるような声かけに勤め、御本人の入居の意思を必ず確認して、不安の軽減を図る工夫をしています。		
24	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	御相談される御家族の思いを出きるだけ理解し、ホームとしての対応について事前にしっかり話し合う時間を設けております。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	早急な対応が必要な相談者には、可能な限り柔軟な対応を行い、会社組織としてできることの可能性について提案させていただきます。行政と相談しつつ御本人や御家族により良い対応を考えております。		
26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	御本人や家族に見学をしていただき、かつ職員が御自宅に訪問させていただいたりして御本人がホームに入る意思を持っていただけるよう関わります。直ぐの御利用の場合は御家族、近隣者などに面会に来ていただき安心感を持っていただけるよう工夫しております。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	御利用者とのコミュニケーションを大切にしその人らしい笑顔を大切に共に有意義な1日を過せるよう、努めております。又、先人の知恵として協働作業を行う際に教えていただく場面も多くもてるような工夫や声かけの配慮をしております。		
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	職員は御家族の思いをできる限り理解させていただき、生活の中での出来事や相談などで情報の共有に努め御利用者と一緒に支えることができるように努めております。		
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	御家族の御利用者への思い、御利用者の御家族への思い、双方を受け止めて、両者の思いがうまくむすびつくよう時間を掛けて話を伺うよう心がけております。		
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	なじみの環境で過される時間を大切に、なじみの友人や知人との交流もおこなえるよう働きかけております。		
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	個別に御利用者からお話を伺ったり、相談にのったり、他の御利用者様を交えて楽しむ時間や、気の合う御利用者同士で過せる時間を作り、御利用者同士の関係が円滑にいくように働きかけております。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退去後もご利用中に築いた関係性を基盤にしなが、長期に継続的なかわりを行っております。		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	毎日の生活の中で言葉や状態から御利用者の思いや暮らし方の希望を把握し、理解されやすい質問で問いかける工夫をし、一人一人の思いを確認しその人らしさを失わないかわりに努めております。		
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	御自宅に訪問し本人や家族から伺うようにしており、ご利用中も面会時などで少しずつ把握に努めております。又ユニット間で得られた情報は共有できるようにカンファレンス等で取り上げております。情報の種類によってはプライバシーの尊重に努めております。		
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	御利用者一人ひとりの残存機能を活かすことを心がけ、その人の持つ見える強みを活かした働きかけをおこない、御利用者一人一人の全体像の把握につとめております。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	御利用者がその人らしく暮らせるよう御利用者や御家族の要望を聞き、他職種の意見を含めてユニットのスタッフと共にカンファレンスで意見交換を行い介護計画作成にいかしております。		
37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的にモニタリングや必要時アセスメントを行い御利用者の状態変化や状況、御家族、御利用者の要望に応じて見直しを随時おこなっております。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	関わった職員がそのつど御利用者個々のケア記録に残しており、職員が常に確認できるようにして、記録の情報共有を徹底しております。又記録を本に状況の把握を行い、介護計画の見直し、評価を実施しております。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	御利用者や御家族の状況に応じて通院や送迎など必要な支援を臨機応変に対応して、個々の安心感をたかめるようつとめております。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	御利用者が安心して地域での暮らしを続けられるように、消防、民生委員、長寿会の方々と意見交換できる機会を設けております。ボランティアの方々と会食やお茶、行事等の参加を通じて地域交流を深めております。		
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	御利用者の要望や状況に応じて、訪問リハビリ、配色サービス、ファミリーレストランでの外食、訪問美容、往診医と連絡を取りつつ、御利用支援をさせていただいております。		
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議への参加、御利用状況についての情報交換、介護計画についての相談等を通して地域包括支援センターと協力しております。		
43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ホームの協力医や、以前からのかかりつけ医での医療を受けられるよう、御家族と協力し、通院介助や訪問診療の対応を行い、複数の医療機関と連携をとりつつ支援しております。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	訪問診療医が神内、脳外、精神の医師で構成されており、支持や助言をうけつつ対応し、経過報告等もおこなっております。		
45	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	看護職員を配置しており、医療連携体制のもと24時間御利用者の健康管理や状態変化に応じた支援をおこなっております		
46	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院時には介護サマリーや口頭申し送りで御利用者の支援方法や情報を医療機関に提供し、頻回に職員が見舞うようにしております。御家族や医療機関と情報交換し回復状況を踏まえつつ速やかな退院支援を行っております		
47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合における医療体制指針を作成し、入所契約時に説明をおこなっております。又、状態変化に伴いそのつど御家族、医師、看護婦で話し合いをおこなっております。		
48	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	御利用者や御家族の意向を大切にしつつ、御家族と話し合い御利用者が安心して最後を迎えていただけるよう随時思いを確認しながら対応しております。急変時速やかに対応して頂けるよう医療機関と連携を図っております。		
49	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	今まで住み替えされた方はお見えになりませんが、新しい環境でも生活が継続できるよう情報提供を行い、連携を図りつつささえていきたいとおもっております。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1.その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>プライバシー保護のマニュアルがあり、入社時に個人情報保護についての契約書ももらっております。特に言葉使い、態度に注意するようカンファレンスではなしあっております。さりげない声かけや態度で御利用者一人ひとりを尊重して対応しております。</p>	
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>御利用者に合わせて声かけを行い、表情を読み取り、御利用者が御自分の意思で決定できるような配慮を行っております。</p>	
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>御利用者一人ひとりの状態や思いに配慮しながらその人のペースを大切にその時その人がしたいこと、出来る事を基本的な1日の流れの中で柔軟に対応しております。</p>	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>着替えは基本的に御本人の意向できめていただき自己決定のしにくい御利用者には必要時声かけ配慮をおこなっております。行事等化粧やおしゃれをたのしんでいただけるように支援を行っております。御利用者一人一人の御希望にあわせ馴染みの理美容室や訪問理美容を行っていただけるように支援しております。</p>	
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>御利用者と共にホームの畑で収穫した野菜を用い一緒に調理や盛り付けを行い、職員と御利用者が同じテーブルを囲んで楽しく、食事できるよう雰囲気づくりを大切にしております。献立を考える際御利用者の意見を参考にしつつ工夫しております。</p>	
55	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>御利用者一人一人の好みを理解し、御利用者の様子や時間を考えつつそのつど声かけにて確認しながら楽しんでいただけるよう支援しております。</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄チェック表を使用し尿意のわからない御利用者は時間や様子を見計らっておトイレにお誘いする事により快適に排泄して頂けるように支援しております。夜間排泄チェックの必要な方には排泄パターンと睡眠のサイクルを考慮しチェックをおこなっております。		
57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本的な入浴の予定は決まっているが、それ以外でも他のユニットの浴室が開いていれば入浴していただいたり、そのつど御利用者の御希望に柔軟に対応している。仲の良い御利用者同士一緒に入られたり、入浴拒否の強い方は声かけ、対応の工夫その人にあわせた配慮をおこなっております。		
58	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	天気の良い日は散歩や体操を外で行い、体内リズムを整え活動性のアップを図っております。又、御利用者の体調や希望を考慮してゆっくり休息が取れるように支援しております。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	御利用者一人一人の得意なもの、お願いできそうな事をしていただき、感謝の気持ちを必ずお伝えしております。月2回の外食やホームでのお弁当、喫茶店に行くなど楽しんでいただける事を御利用者とは相談しつつおこなっております。		
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	御本人の御希望と御家族の協力にて小額のお金を持っていただいている方もみえます。御家族からおこずかいを預かり、ホームにて管理している方でも、買い物時や外出時にご自分で払っていただけるように声かけや支援の工夫をしております。		
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気の良い日は散歩にお誘いし、御利用者の御希望にあわせ外食、買い物、ドライブ、喫茶に出かけております。		
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	御利用者の希望にあわせ行きたいところや、行ってみたいところを、近くであれば体調に合わせて、遠方であれば計画を立てて、職員の勤務を調整し行っております。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	毎年年賀状や書中見舞いを書いていただき御家族や知り合いにお出しする支援をしております。又、御利用者の御希望に合わせてそのつど手紙やはがきを書いていただきお出しする支援も行っております。		
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	気軽で面会しやすい雰囲気づくりを心がけております。面会時間は定められておりますが、お仕事帰りや御家族の都合に合わせて柔軟な対応をしております。又、面会時は御利用者の居室にて気兼ねなく過ごしていただけるよう声かけ配慮をおこなっております。		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	会社としてのマニュアルがあり、身体拘束について、カンファレンスや申し送り時などで取り上げ自覚していない拘束の再認識をしております。		
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関は自動扉であるが、リモコンは手の届き所にあり、知っている御利用者は自由に外に出かけてみえます。リモコン操作のわからない御利用者で外出希望があれば、状況の許す限り職員が付き添い見守りをおこなっております。		
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	職員は御利用者と共に同じ空間にいて、見守りを行いさりげなく御利用者全員の所在を確認しております。夜間は数時間ごとに御利用者の状況を確認し、速やかに対応できる位置で安全に配慮しております。		
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	御利用者の状況に合わせて危険のないよう、必要性を考慮して保管管理を行っております。		
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	御利用者一人ひとりのリスクアセスメント表を作成し、事故を防ぐ工夫を行っております。事故報告書を作成し対策についての検討や、御家族への説明職員共有の認識をはかっております。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	すべての職員が年に1回消防署主催の救急処置の講習会に参加している。又夜勤帯野緊急時対応についてのマニュアルを作成し、周知徹底を図っております。		
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	マニュアルを作成し、年2回の消防訓練と地震発生時の避難訓練、夜間帯避難訓練を随時行っております。地域の協力体制については運営推進会議や民生委員等を投資手自治会に協力をお願いしております。		
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	ご利用者一人一人のリスクについてご家族と話し合いホームの取り組みに理解していただけるよう丁寧に説明し理解を得られるようつとめております。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	体調や小さな表情の変化も見逃さないよう早期発見に取り組んでおります。バイタルサインのチェックを最低一日1回行い必要時適時再検をおこなっております。体調不良時は速やかに看護師に報告し医療機関に受診につなげております。		
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	リスクアセスメント表に薬の内容がわかるように記載し、職員が把握できるようにしております。また、服薬時はご利用者に手渡しや口に入れる等の支援を行い確実に服用されたかの確認をしております。又上体に変化が現れた場合早速やかに看護師に報告し医師の指示をあおぐようにしております。		
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	散歩やたいそうレクなどで活動性を高め、かつ1日1回ヨーグルトを食べていただき、献立に繊維質を多く取れる工夫をいたしております。		
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後の口腔ケアの声掛けを行い御利用者にあわせて必要な支援を行って降ります。就寝前は義歯をお預かりし洗浄剤につけるようにし清潔を保っております。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量や水分摂取状況を毎日チェックし職員全員が共有できるようにしております。献立作成時に栄養面でのアドバイスを管理栄養士にしてもらっております。		
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症ごとにマニュアルが作成しており、カンファレンス等取りあげて予防や対策を学び、徹底している。感染症の流行時は再度確認徹底しております。		
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	まな板やふきんは每晚漂白除菌をし、清潔を保っております。調理器具や台所の水周りの清潔衛生を保ち食器は食器乾燥機を用いて降ります。新鮮で安全な食材を用いるよう、毎日買い物に出かけ、買い置きをなるべくしないようにしております。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	明るい雰囲気や玄関になるよう季節の花をいけたり、ベンチを置、花壇を眺められたり、プランターを置いております。		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホーム内の飾りつけは御利用者と相談し御希望にあわせて職員と共に製作し季節感の感じられる工夫をしております。洗面所やトイレ内に、生花や造花をおき落ち着ける空間をつくっております。		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	玄関ホールや廊下にいすをおき、居心地の良いくつろげる。空間を作っております。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家具やベットなど使い慣れたものをお持ちいただき、落ち着ける空間を作る工夫をしています。		
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	ホーム内は必要時換気を行い、温度計をおき温度調節を行っております。冷暖房は御利用者の状態などに注意しつつ調節しております。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ご利用者の状態に合わせて、手すりや浴室、トイレ、廊下などの住居環境を見直し、必要な支援を行い安全確保とご利用者の自立を促す配慮に努めております。		
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	ご利用者一人一人の理解力を判断しつつ、不安なく生活できるように状況に応じてその都度環境整備に努めております。		
87	建物の外周リや空間の活用 建物の外周リやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	玄関先には花壇が眺められるベンチをおき、ホーム内から畑を見ることが出来るはきだしがあり、御利用者の楽しみとなっております。		

. サービスの成果に関する項目			
項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/>	ほぼ全ての利用者の
			利用者の2/3くらいの
			利用者の1/3くらいの
			ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	毎日ある
			数日に1回程度ある
			たまにある
			ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/>	ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	ほぼ全ての家族と
			家族の2/3くらいと
			家族の1/3くらいと
			ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	ほぼ毎日のように
			数日に1回程度
			たまに
			ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	大いに増えている
			少しずつ増えている
			あまり増えていない
			全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	○	ほぼ全ての職員が
			職員の2/3くらいが
			職員の1/3くらいが
			ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	ほぼ全ての家族等が
			家族等の2/3くらいが
			家族等の1/3くらいが
			ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

ホームだから出来ないと物事を捉えず、ホームで出来ることの工夫を常に考え支援を考える上で自分だったらどうしたいか、どうして欲しいかのご利用者の立場で考えていま